いいなん 飯南

いいなんちょう
飯南町広報
平成18年6月20日　No.18

6月号

語り合おう
いいなんのまちづくり

まちの話題・わが町は美しく・お知らせなど

女亀山ブナ林自然観察会「おむすびサミット」

いいなんの語り合おう まちづくり

5月23日から6月7日まで、町内5ヶ所で町政座談会を開催し、町民の皆さん167人に参加いただきました。
今回は、町民の皆さんからいただいた「まちづくりに向けた様々なご意見や提案」と回答を、抜粋して紹介します。

教育

Q 中高一貫教育のメリットを教えてほしい。

A 入試がないため、ゆとりを持って中学校生活を送れる。中高の連携をうまくつなげ、高校で学力をつけて希望の進路に進む。飯南高の進学・就職率は良好。順調に進んでいる。

Q 校舎や体育館は避難場所になるが、早期に耐震調査を実施するべき。

A 検討したい。

自治振興

Q 自治区は、赤来が8で頓原は14とバランスが悪い。交付金も、住民全員に平等なシステムにするべき。

A 頓原地域では、現在再編を検討中。モデル案を示して協議したい。

Q 自治区の再編は、今だけでなく大きな視野で見るべき。

A 様々な活動が、小さな単位では難しくなる。行政の伝達は重要だが、地域の福祉向上の役割も担っていただきたい。

Q 座談会の参加者が少ない。町民が参加できるよう工夫してほしい。

A 検討したい。出前講座も活用してほしい。

赤名農村環境改善センター

来島基幹集落センター

頓原農村環境改善センター

さつき会館

情報・通信

Q 文字放送は、テレビ放送中に下段にテロップを流すなど、技術的には可能か。

A 可能だが、今後テレビのデジタル化にあわせて検討していく。

Q 携帯電話の不感地域解消は、合併時の条件。町として何かしているのか。

A CATV回線などを活用できないか、検討している。

生活

Q 尾道松江線が完成すると、高速バスは通らなくなり、交通弱者には深刻な問題となる。周辺地域と連携をとり、バスの確保に努めるべき。

A 重要な課題であり、検討したい。

行政改革

Q 赤名トンネルが古くなっている。今後の計画や方向性を聞かせてほしい。

A 三刀屋のトンネルは交通量が多いため、先に工事をされる。赤名トンネルは、その後になる。今後、国へ強く要望していく。

Q 行政評価システムを導入すべき。

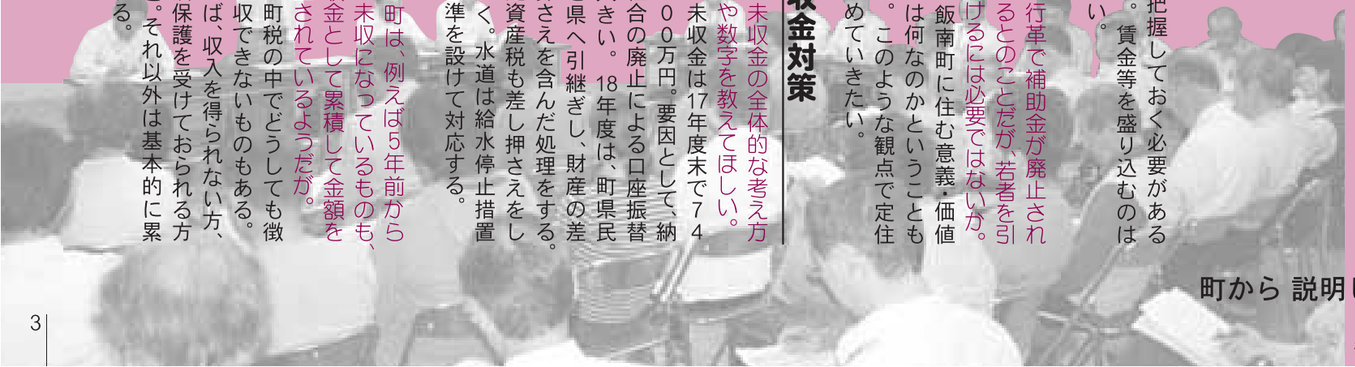
A 行政評価は2・3年後の導入に向けて検討している。

Q 働く場が少ないのに、職員を減らすべきではない。

A 町財政をみると人件費を削減せざるを得ず、5人以上の退職者に対し2人を採用する計画である。

Q 指定管理者制度による経費削減は、どう削減するのか。

A 運営管理費を削減し、町が運営していたものを、指定管理者制度に移行する。本年度は10％の削減とした。



谷高齢者コミュニティセンター

医療・健康・福祉

Q 地方交付税は、どの地域でも平等であるべき。

A 地方交付税の計算方法を、国が変えようとしているが、国が目指す簡素化は、島根県で150億円の減額になる。時期を見て、皆さんにお知らせしたい。

Q もう一歩踏み込んだ行政改革が必要なのでは。

A まず人件費削減など役場内部の努力を行い、その後は皆さんにご協力いただきたい。

Q 病院を今の人口で経営することは大変だろうが、一般会計から2億円を繰り入れることは、住民が納得できるものか。

A 実質的な赤字部分は、一般財源から繰り出しているが、交付税の中で必要なものとして算定されているので、理解いただけると思う。

Q 往診を中心とした医療にはできないのか。

A 医師の確保など体制的に厳しい。

観光・産業

Q 大万木山には、多くの登山客が来る。何か仕掛けを考え、お金を使ってもらうようなことができないのか。

A シーズンを通して、多くの登山客がある。検討したい。

Q 地域で産業を創出する必要性を感じる。この地域にはダムができて景観も良くなる。墓地団地を作って管理を地域でするなど出来ないか。

A みんなで知恵を出し合っていきたい。

Q 来年度から始まる経営安定化対策などは、難しい問題。もう少し情報を公開いただき、指導してほしい。

A 農林課とJAが一緒になり、各地域の話し合いの経過を把握し、体制づくりをしている。

Q 水路や農道の整備には、中山間直接支払制度とは別に助成があると聞いたが。

A 水路などは、来年度から農地水環境保全対策事業で、10アールあたり4400円を助成される制度が始まる。この制度は、農業者のみでなく地区全体で取り組んでいただきたい。

定住

Q 交通状況も良くなり、近隣地域に通う人も多い。若者が住める家賃の安い住宅の整備が必要。

A 広域的に仕事を確保することも大切。総合的に考えながら公営住宅などを考えたい。民間の住宅建設などにも期待したい。

Q 団塊世代が退職するが、Uターンの呼びかけなど、何か取り組みを行っているのか。

A 定住対策には働きの場が必要。町内の労働力調査や、出身者のUターン希望調査等を行う。

Q 定住関連のアンケートを取るのなら、就職先や賃金面を含めたものが良いのでは。

A 労働力調査は、企業が来るからではなく、企業誘致には町内の潜在的な労働力を、把握しておく必要があるため。賃金等を盛り込むのは難しい。

Q 行革で補助金が廃止されるとのことだが、若者を引き付けるには必要ではないか。

A 飯南町に住む意義・価値は何なのかということも大切。このような観点で定住を進めていきたい。

未収金対策

Q 未収金の全体的な考え方や数字を教えてほしい。

A 未収金は17年度末で7400万円。要因として、納税組合の廃止による口座振替が大きい。18年度は、町県民税を県へ引継ぎし、財産の差し押さえを含んだ処理をする。固定資産税も差し押さえをしていく。水道は給水停止措置の基準を設けて対応する。

Q 町は、例えば5年前から未収になっているものも、未収金として累積して金額を計上されているようだが。

A 町税の中でどうしても徴収できないものもある。例えば、収入を得られない方、生活保護を受けておられる方など。それ以外は基本的に累積する。

第15回 ポピー祭

6/11(日)

Higashi Sanbe Flower Valley POPPY FESTIVAL 2006

ポピーの吐息に包まれて…。

6月11日、東三瓶フラワーバレーでポピー祭が開催され、県内外から約5,000人の人出で賑わいました。
今年は例年よりポピーの開花が遅く心配されましたが、イベントに合わせるかのように咲き始め、当日のフラワーバレーには様々な色のポピーが可憐に咲いていました。
訪れた方は、ステージイベントやうまいものコーナーなどを楽しみ、そよ風を受けて気持ちよさそうに揺れるポピーに癒されていました。

八神神楽こども教室による舞

志津見ダム 現場体験バスツアー

雄大な自然が参加者を魅了

大万木山 ブナ林自然観察会

5/21(日)

この観察会は今年で20回目を迎え、今回も県内外から約100人が集まりました。
今回は、2つのルートに分かれて山頂を目指しました。登山中は、自然観察指導員や森の案内人から、周辺に育つ植物などの説明を聞き、写真撮影やメモを取るなどして、ゆっくりと登っていきました。珍しい山野草との出会いなどもあり、参加者は森林の中の自然を満喫されていました。
近年は各地でブナが伐採され、ブナ林はとても貴重なものとなりつつあります。「森林は落ち着く」「来年も参加したい」といった参加者からの声もあり、「私達は大切な自然の宝物を持っている」ということを感じられる観察会となりました。

わたしたちの前でタバコを吸わないで

頓原中学校で防煙教室

5/30(火)

5月31日の世界禁煙デーを前に、頓原中学校で防煙教室を行いました。2年生を対象に、町の保健師が資料等を用いながら、タバコが及ぼす影響などの話をしました。
生徒の感想からは「将来、タバコは絶対に吸わないぞ」という強い意志が感じられました。また、家族の中でタバコを吸っている方に「タバコをやめてほしい」と思っている生徒が多くいました。
タバコは子ども達の成長に影響を与えたり、吸わない人の健康を損なうことがあります。喫煙者の皆さん、喫煙の際は周りの人への気配りをお願いします。

森林で心も体もリフレッシュ

森林セラピー講演会

5/15(月)

森林の持つ健康と癒し効果を活用する「森林セラピー（森林療法）」について学ぶ講演会と研修会を、中山間地域研究センターで開催しました。
研修会には約70人の参加があり、兵庫県立大学の上原巌助教授に森林セラピー体験や効果、先進地の取り組みなどを紹介いただきました。
「森林セラピー」とは、森林の持つ癒し効果を利用し、森林浴などを通して健康増進やリハビリ効果につなげていこうというもので、全国各地で医学的な効果の検証が進められています。
飯南町の90％は森林ですが、森林を活用したまちおこしの一つとして、町は森林セラピー事業に取り組んでいます。
午後からは、県民の森（小田）に移動し、上原助教授の指導で森林散策をしました。参加者は、風にそよぐ木々の音や川のせせらぎを聞いたり、木に抱きついたりしながら、のんびり時間を過ごしました。
上原助教授は「都会から癒しを求めて来る人ほど効果がある」と述べ、森林にはリフレッシュ効果があることを説明されました。また、参加者は「森林は気持ちが落ち着く」「効果を実感した」など、清々しい表情で話していました。
講演で上原教授は「森林セラピーが生活やストレス軽減などに効果がある」と話されており、町では今後、地域資源である森林を活かし、森林セラピーを通して地域の活性化を図りたいと考えています。

不法投棄のないまちを願ってスタート

地域住民監視モニター

6/2(金)

近年、不法投棄が全国的な社会問題となっていますが、飯南町でも深刻な問題となりつつあります。このような現状を踏まえ、県では、町と地域の皆さんとの協力体制を強化し、不法投棄の防止や廃棄物の適正処理の推進を目指そうと、半田眞道さん（上赤名）、岸野昌士さん（上赤名）に監視モニターを委嘱されました。
今後は、重点地域である赤名トンネル付近を中心に監視の強化を図り、不法投棄の未然防止・発見に協力いただきます。

差別のない心かようまちを目指して

人権・同和教育講話会

5/29(月)

この講話会は、飯南町人権・同和教育推進協議会が、総会にあわせ、今後の人権・同和教育について考えていこうと、保健福祉センターで開催されたものです。会場には、約60人の参加がありました。
今回は、浜田市を中心に活動されている「べっぴんの会」から佐々木幸子さんを講師に招き、「母の想い」と題してお話しいただきました。
同会での様々な活動を通して学び感じたこと、娘とのやりとりなど、様々な体験を交えながら、「思い込みや偏見だけで間違った差別が生まれる」「無知は罪。正しいことを学べば差別をなくせる」など、差別や偏見と向き合うことの大切さを訴えかけられました。

伝：与一の墓（八神）

ふるさとを築いた人々

なすのよいち

那須与一

「与一、鏑をとってつがひ、よっぴいてひやうど放つ。小兵といふじょう十二束三伏、弓は強し。浦ひびく程ながら鳴りして、あやまたず扇のかなめぎは一寸ばかりおいて、ひいふっとぞ射きったる。

鏑は海へ入りければ、扇は空へぞあがりける。しばしは虚空にひらめきけるが、春風に一もみ二もみもまれて、海へさっとぞ散りたりける。」

その2

今回は、平安時代末期から鎌倉時代初期の武将で、源平合戦で活躍した**那須与一**と飯南町の接点についてお話しましょう。

この物語は有名な「平家物語【扇の的】」の場面です。源平合戦の屋島の戦いにおいて、源氏方であった那須与一は、見事に平家がかざした扇を射おとしました。

この那須与一の墓と言われるものが、飯南町八神に残っています。八神には、与一ゆかりの白旗山や与一原などの地名が残り、現在も那須姓の方がたいへん多いことで知られていて、那須家との関係がうかがわれます。

残念ながら、与一が山陰地方へやってきたと言う事実は確認されていませんが、与一の数代後に那須五郎と言う人物がいます。

那須五郎は中国地方に潜伏し、隠岐へ配流となった後醍醐天皇を奪還しようと試みた天皇方の武士でした。天皇は隠岐を脱出しましたが、時代は足利の世になり、五郎たち那須一族は、中国地方に土着したものと考えられています。

那須与一の墓と伝えられているものは、八神のほかに大田市三瓶町、川合町、長久町にもあり、那須一族の移動を物語るものと考えられています。八神に移り住んだ那須一族は、見知らぬ土地で一族の由緒を残し、団結を強化するためのモニュメントとして、与一の墓を建てたのかもしれません。

近年、那須家の伝承記録の発見や、与一の墓近くの山から、数代に渡る古墓跡が見つかり、那須一族が与一原周辺の開拓の礎となったことが分かっています。

短歌 川柳

とんばら川柳会

＊茶柱は立たぬが桜餅がある　加藤　安次
＊知りつつもそっとしておく思いやり　渡辺　柳子
＊旅に出て我が家やすらぐ場所と知り　田中寿美江
＊やすらぎは扇屋の相撲勝ったとき　盛政　雨石
＊靴音が一日終えたやすらぎを　信藤さつえ
＊やすらぎのお茶とお菓子と青い空　景山　敬子
＊一握りの土百態の茅が育つ　福間　秀夫
＊故郷の土は祖父母のいい匂い　景山かずこ

五月詠草

頓原公民館短歌教室

＊我もまた蟻のごとくに地下道を出て来てあおぐ春の青空　藤原　正
＊啄木の歌をしのびぬ矢車草咲きて初夏つぐ郭公の鳴く　那須　キミ
＊鉢植えの松の移植に梃ずりぬ初心に戻りて川砂洗う　石田　文子
＊春うらら札所めぐりに出雲路へ足疲るるも先祖の供養　藤原　秀子
＊この集い最後となりしディサービス記念の写真それぞれ口紅ひく　千葉トミエ
＊夕暮れの路地を急げば家家の明かりやさしくカレーの匂う　戸田登喜栄
＊孫からの電話の声の変わりしを一大事のごと夫に告げたり　渡辺ヤエコ
＊若き等にテンポ遅れじと口ずさむ「青春アミーゴ」花見の宴　熊谷　允子
＊物言わぬ姉の遺影に語りかく夢で出会えた初七日の夜　田中寿美江
＊新萌えのうす紅色の花みずき恥じらうごとく風に揺れいる　片岡　千鳥
＊心臓を病める我が身も亡き母の齢を越えて又春に逢う　景山　敬子
＊早乙女のその姿なくハイテクがひときの間に緑に植える　岡田　繁富
＊ままごとの皿にのりたる紅椿ふるさとの友と夢に遊びぬ　景山サチ子
＊黒芋の徴かな茅立ちたしかめて春日に急かれそこそこ植える　三上　朋子
＊春さかり空き家の庭は春の園犬ふぐり・タンポポら悠悠自適　景山　牧栄
＊山菜を求め歩きて見わたせば静寂の森につつじの揺れつ　原　美千枝

ラストメッセージ

美海入崖（びかいにゅうがい）

アリシア・スティーブンス

♪Fly like an Eagle♪
by Steve Miller

Times keeps on slipping
into the future…
I want to fly like an eagle
to the sea,
fly like an eagle,
let my spirit carry me.
I want to fly like an eagle
into the future…

鷲のように飛ぶ
スティヴ・ミラー作曲

未来へむかって時間は
滑り続けています。
私は鷲のように
海までに飛びたい、
鷲のように飛んで
私の心に私を運ばせる。
未来へ
私は鷲のように飛びたいです。

私の好きな曲に次の言葉があります。「Time keeps on slipping into the future.」日本語に訳すと、「時は未来へ向けて進んでゆく」です。

例えばおじいさんが、ある朝起きて「もう老人になった」と言いました。同じように、私は今朝起きて、日本にあと２ヶ月間しかないことを悟りました（私は３年間のALTの任期を終え、８月に帰国します）。３年間は、いつの間に過ぎたのでしょう。日本に来て初めての日のことを、昨日のように覚えているのに。

３年前の８月、新しくできた友達と一緒に、旧島根町の浜辺に行きました。海が澄んでいて、鷲が何羽も飛んでいて、すごくいいところだと思いました。あの日、一人で高い所まで散歩した時「なんてきれいな海。ここから飛び込みたい」と思いました。

私は３分迷いました。それから、心臓がドキドキしたけど、10ｍの崖から思い切って海に飛び込みました！いつも飛び込んでみたいと思ってできなかったけど、初めて勇気がでました。この瞬間は、私が日本で色々経験した中でも大きなものです。

怖くても、いつもやってみたいと思っています。チャレンジしたら心が強くなるし、誰とでも理解できるし、人生の面白さも増えます。日本に来なかったら、私の人生は今ほどは素晴らしくないでしょう。皆さん、人生の海に飛び込んでください！

皆さん、本当にありがとうございました。日本で出会った多くの人や出来事は、今のわたしを創ってくれたかけがえのないもの。皆さんを決して忘れません。８月５日までに、もう１回、ぜひ会いましょう。会えなくてもまた日本に来ますので、その時は必ずね！

それでは、当分さようなら、お元気で！

飯南町の子ども達へ ありがとう

トレバー・メナ

私は３年前、妻と赤名へ来ました。この３年間、飯南町の誕生を見ましたし、大雪や町内の児童が育つのを見てきました。素晴らしいことや大変なこと、幸せや悲しみなど色々な経験をしました。私達は飯南町が大好きです。

私は、７月でALTを辞めなければなりませんが、飯南町に住み続けられます。私の後任者は、ほかならぬ妻のシグニーだからです！８月から、彼女は赤来地域の小中学校で働きます。彼女は今、三次市の中学校で働いているけど、２学期からは私がその中学校で働く予定です。

シグニーを知らない人のために紹介をします。彼女は、アメリカのカリフォルニア州で生まれました。幼い時、両親と一緒にワシントン州の小さな島に引っ越しました。島の名前はマローストーン島です。

その島は飯南町より小さく、赤来地域よりも小さく、赤名よりも小さい！そこにはたくさん大きな木があり、海や森が近く、自然が美しい。両親は島に土地を買い、ログキャビンを作りました。シグニーが小学生の時に住んでいた時は、電気や水道がなく、トイレは外の小さいビルでした。今も両親はそこに住んでいるけど、今は電気・水道・トイレがあります。彼女は数年後、ワシントン州立大学に入学し、私と出会いました。４年の時、レストランでプロポーズし、彼女の故郷で結婚しました。私達はカリフォルニア州のシリコン・バレーに引っ越し、彼女は映画館の経営者になりました。

私達は映画を見るのが大好きなので、そこでの生活はとっても楽しかったけど、本当に日本に住みたくて、引越したのです。今のシグニーはたくさん興味があります。一生懸命に裏庭を草のジャングルから美しい花園に変化させました。きれいな着物も手で縫いました。もちろん、映画にも興味があります。

飯南町民のみんなさん、シグニーと一緒に色々楽しみましょう。私は町内の子ども達のおかげで、この３年間がとても素晴らしいものになりました。ありがとう。彼女にも一緒にたくさんいい思い出を作ってあげてくださいね！

保健・医療・福祉のページ

いのち 彩る 生活 ⑭

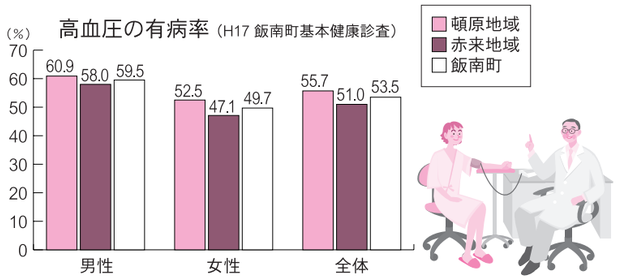
高血圧症シリーズ③

数値が示す高血圧の現状

町内中高年者の半数に高血圧が！

高血圧症シリーズ①②でお知らせしたように、高い血圧が長く続くと血管壁が硬くなり、脳出血や脳梗塞、腎硬化症、心筋梗塞など怖い病気を引き起こす原因となります。

今回はこの「高血圧」の現状についてお知らせしましょう。



基本健康診査結果

平成17年度の町基本健康診査で、40歳以上の受診者について高血圧の有病率をみると、町全体で53％あり、なんと2人に1人が高血圧状態にあるという驚くべき現状が見られました。（県全体では44％＝平成15年結果）

更に地域別・性別でみると、図のように頓原地域の方が赤来地域より割合が高く、特に男性の約6割が高血圧です。この実態は、今後脳卒中を発症したり、これが原因で要介護状態になる危険性が高いことから、予防していく必要があります。

子どもの時から好(高)塩分の食習慣にならないよう、各家庭で薄味を心がけましょう。また、若い時から健診を受け、血圧にもっと関心を持ち、血圧を上げない生活習慣を心がけましょう。

お問い合わせ先 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

こんにちは 中山間地域研究センターです

Web-GISにアクセスしよう

今回は、最先端の中山間地域研究センターインターネット公開型地理情報システム、Web-GIS（ウェブジーアイエス）をご紹介します。

▼はじまりは神戸川調査から

当センターのWeb-GISは、今年で4年目を迎えます。現在、環境・交通・鳥獣害・福祉・農林業など様々な分野と連携し、インターネット上で78種類の地図が活用されています。

最初に登場した住民参加型マップ（地図）は「神戸川流域環境マップ」です。川の様子を飯南町をはじめとする流域の小・中学生が春と秋の2回調査し、その4年間の結果はインターネットから誰でも見ることができます。

川の調査をする子どもたち

▼世界を描き直すあなたの発見

当センターのWeb-GISは、ネット上の地図に、携帯電話やパソコンで写真付きの地域情報を入力することができます。そして、その結果は即時に見ることができます。

「誰でも・いつでも・どこでも」情報発信と共有ができるのが、今までの情報システムや通信メディアにない大きな特徴となっています。

インターネットの画面

■アクセスしてみよう　http://www.chusankan.jp/

Web-GISは中山間地域研究センターホームページからアクセスすることができます。

わが町は美しく

活動グループ紹介 No.1

清流会（せいりゅうかい）

［頓原川をきれいにする会］

花の川のシンボル「黄菖蒲」

清流会は、約25年前に頓原町区の皆さんが設立されました。会員数は40人で、年間を通じて頓原川の草刈・清掃活動等をされています。

全体での活動は年3回くらいで、通常は町区を4つに分け、各々で活動されているそうです。

また、同会は頓原川を「花の川」にすることを目標に、様々な花の植栽を試されています。現在は、10年前くらいに植えた「黄菖蒲（きしょうぶ）」を育てられています（キャッチフレーズは【菖蒲で勝負！】）。今後は「谷空木（たにうつぎ）」を植栽しようと、検討されているところです。

先進地視察も行われるなど、活発に活動されており、会員の方は「花の川としてたくさんの人に訪れてもらえるように、また地域住民の憩いの場となるような川づくりを目指したい」と話されていました。

私たちの地域を紹介します

第２回

赤名

240世帯・568人

「地元を知ろう会」でふるさと再発見

赤名の町に雪が舞う 花が舞う 人が舞う

産声上げて2年、よちよち歩きの赤名地区です。平成16年12月、上市上、上市下、中市上、中市下、下市上、下市下、衣掛団地の自治会が一緒になって、新しく240世帯の赤名自治振興会が発足しました。

まだ日が浅いのと高齢化率40％を超している中、皆さんの「安心して暮らせる地域に」「昔みたいなにぎやかさを取り戻そう」という掛け声で歩きだしたところです。

■みんなが支えあう、やさしいまちに

7つの自治会が1つの大きな和に広がるため、親睦第一に「グラウンドゴルフ大会」、お年寄りの憩いの場として「お食事会」に取り組んでいます。

■地元をもっと知り、伝統行事の継続を

昨年度は「神社・仏閣巡り」、今年は「衣掛山のお城と戦国時代」の歴史を知り、「半夏市」「はやしこ」などの伝統行事を盛り上げていきます。

今年の半夏市は7月1日、2日です。ぜひ足を運んでください。お待ちしています。

■ホタルが舞い花が舞う美しい自然に

ホタルが舞い、魚が泳ぐ清らかな赤名川を取り戻すため、缶やゴミ拾い、有志による草刈、自治区一斉で道・川・路地の清掃はもちろん、水辺の公園に桜や花ミズキを植え、「花と緑」の自然豊かなまちづくりを目指しています。

■大雪にも負けず

昨年の暮れには思わぬ大雪となり、連担地でも被害が出て、雪の処理で大変でした。

冬の対策、お年寄りの問題。自治区には課題は多く、これからみんなで支え合い「赤名の町に住んで本当に良かった」いえるような自治区にしたいと思っています。

お知らせ
INFORMATION

ごみの適正な分別にご協力ください

お問い合わせ先
いいしクリーンセンター
TEL72-9217

いいしクリーンセンターからのお願い

5月に収集した資源物（ビン・カン）の中に、中身が入ったクレゾール石けん液などの家庭用医薬品ビンがありました。これらのビンが入っていると、作業中に事故が発生する恐れがあります。

これらのビンは、資源物としてではなく「不燃物のガラス類」として収集場所に出してください。また、ビンやカンは水ですすぎ、中身を空にして出してください。

資源ごみの中に混入していた家庭用医薬品ビン（H18.5.24）

国民年金保険料の免除制度が変わります

保険料免除制度

「収入が少ない」「失業した」など、経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合は、保険料免除制度があります。

この制度には、従来から全額免除、半額納付の種類がありましたが、7月から「4分の1納付」「4分の3納付」の2種類が加わります。

この制度を利用するには、申請手続きを行っていただきますが、免除には本人、配偶者、世帯主の所得に制限が設けられています。

保険料納付免除に承認されると…

承認された期間は、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金などの受給資格期間に算入されますが、一部納付で承認された期間に、納付すべき保険料を納めないと未納と同じ扱いになり、受給資格期間に数えられませんので、ご注意ください。

保険料納付を免除された期間は、10年以内であれば、さかのぼって納付することができます。

ただし、承認された期間の年度から3年度目以降に納付すると、経過した年数に応じて、一定の加算額が加わります。

その他の免除制度

国民年金保険料の免除制度には、このほか「若年者納付猶予制度（30歳未満の方が対象）」、「学生納付特例制度」があります。国民年金保険料納付にお困りの方は、ご相談ください。

お問い合わせ先●住民課税務保険担当　TEL76-2213

各種手当額が改定されました

児童扶養手当

父母の離婚などにより父親と生計をともにしていない児童の母親等、児童（18歳未満）を養育している人に対し、児童の健やかな成長を願って支給される手当です。

手当額（月額）
全部支給……41,720円
一部支給……41,710円～9,850円

特別児童扶養手当

障害児の父母等がその障害児（20歳未満）を養育するときに支給される手当です。

手当額（月額）
1　級……50,750円
2　級……33,800円

特別障害者手当・障害児福祉手当

日常生活において常時介護を要する程度の障害がある方に支給される手当です。（20歳未満は障害児福祉手当）

手当額（月額）
特別障害者手当…26,440円
障害児福祉手当…14,380円

お問い合わせ先●飯南町福祉事務所 TEL72-1773　来島保健センター TEL76-3800

今月の表紙

6月10日に行われた赤名公民館・上赤名自治振興協議会による「女亀山プナ林自然観察会」には、三次市の作木町と布野町の有志も参加され、3ヶ所から山頂を目指しました。

山頂では「おむすびサミット」と題して、3つの地域に伝わる女亀山の話を披露しながら、3地域の親睦を深めていました。

やすらかに　5月届出分

お名前	親族	地区
田村　貞利　様	（74）	利誠（赤名）
別木　清江　様	（77）	康吉（花栗）
景山　幸　様	（83）	鐵雄（下赤名）
松田　皐　様	（83）	辰志（小田）
三嶋　榮之　様	（61）	三ツ工（下来島）
原　重子　様	（66）	俊二（下来島）
湯川　芳邦　様	（80）	成明（野萱）
高橋　良而　様	（76）	八重子（頓原上区）
大谷　政春　様	（87）	善啓（角井）

すこやかに　5月届出分

新生児	届出人	地区
八嶋　剛（つよし）ちゃん	二郎（上赤名）	
原田　怜奈（れな）ちゃん	明紀（獅子）	
山本　朔弥（さくや）ちゃん	洋士（下赤名）	
髙岡　咲季（さき）ちゃん	晃（志津見）	
三上　璃子（りこ）ちゃん	健太（小田）	

JAS法に基づく食品表示研修会

食品の表示は、消費者と食品をつなぐ重要な情報源ですが、表示方法が複雑で分かりにくいのが現状です。

この研修は、主に食品事業者や産直加工グループの方を対象に、食品表示を理解していただくために実施します。

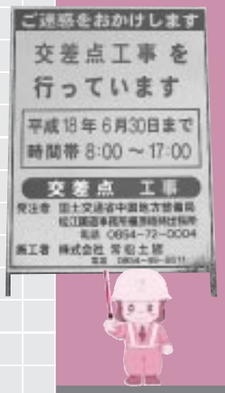
■日時・会場
7月11日（火）
▽9時30分～12時
赤名農村環境改善センター
▽13時30分～16時
頓原農村環境改善センター

■研修内容
①JAS法に基づく食品表示の実際
②営業許可と食中毒防止の注意点
③健康効果と栄養成分表示
④景品表示法のポイント

■お問い合わせ先
農林課農林業担当
TEL72・0313

とんばら維持出張所からのお知らせ

路上工事看板を新しくしました



道路工事で「何の工事をしているんだろう」と疑問に思われたことはありませんか？

路上工事看板は、工事内容や工事期間、工事実施者等についての情報をお知らせするために工事現場に設置されている看板のことです。

平成18年4月から、この看板の内容を分かりやすくするため、デザインを新しくしました。

これからも、より分かりやすい道路工事情報を提供できるよう努めますので、ご協力をお願いします。

お問い合わせ　国土交通省頓原維持出張所
TEL（0854）72-0004 FAX（0854）72-0726
HPアドレス：http://www.matsukoku-mlit.go.jp/tonbara-iji/

再就職に向けての職業講習会

1期　参加費無料

（財）ふるさと島根定住財団では、厚生労働省島根労働局および島根県の委託を受けて、県内居住者で、求職活動中の方を対象とした講習会を開催します。

内容は、再就職活動に必要な知識や面接訓練など、効果的・効率的な求職技術を習得する機会を提供するものです。

■日時・会場

会場	開催日	申込締切	定員	開催場所
松江（東部）	7月21日（金） 22日（土）	7月18日（火）	30人	松江テルサ（松江市朝日町478-18）
出雲（東部）	8月30日（水） 31日（木）	8月25日（金）	30人	県立出雲高等技術校（出雲市長浜町3057-11）
大田（西部）	7月11日（火） 12日（水）	7月　6日（木）	30人	島根中央地域職業訓練センター（大田市大田町大田イ309-2）

※講習時間は10時から16時まで。
※事前に申し込みが必要です。
　詳しくは、下記連絡先にお問い合わせください。

■お問い合わせ先
【東部】（財）ふるさと島根定住財団 TEL0852-28-1322
【西部】（財）ふるさと島根定住財団石見事務所 TEL0855-25-1600

まちのスケジュール

2006 平成18年 7月

日	月	火	水	木	金	土
6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	1 ❑ 県中学ハンドボール大会〜2日(江津市) ❁ 赤名半夏市〜2日(赤名連坦地) ❁ 志々地区体協ゲートボール大会(志津見集会所)
2 ❁ 志々地区体協バレーボール大会(八神トレーニングセンター)	3 ❑ 飯南高総合的学習〜4日(中山間地域研究センター) ❁ 基本健康診査(旧谷小体育館) ❁ スマイルりんご(来島保健センター)	4 ❁ 軽体操教室(基幹集落センター) ❁ お料理しま専科(来島保健センター)	5 ❑ さつき保育所給食を考える会・七夕会 ❁ 一歩の会(来島保健センター) ❁ こもれび相談室(社協地域福祉部・来島保健センター) ❁ 赤来地域ソフトボール大会開幕(赤名山村広場)	6 ❑ 赤来中PTA地区懇談会〜7日 ❁ 糖尿病教室(保健福祉センター)	7 ❑ 保育所七夕まつり(赤名・来島) ❑ 桜ヶ台・さつき合同七夕会(桜ケ台保育所) ❁ 胃がん検診(角井自治会館・谷川南公会堂)	8
9 ❖ 消防団夏季訓練(頓原町民グラウンド)	10	11 ❑ 赤来中授業公開日・PTA研修・保護者会 ❁ JAS法食品表示研修会(赤名改善センター・みせん)	12 ❑ 保育所地域開放日(赤名・来島) ❁ 胃がん検診(安波岐公会堂・保健福祉センター) ❁ 一歩の会・お料理しま専科(来島保健センター) ❁ こもれび相談室(憩いの郷衣掛) ❁ 軽体操教室(保健福祉センター)	13 ❑ 頓原中職場体験学習〜14日 ❑ 赤名小親子地区会 ❑ 保育所地域開放日(桜ヶ台・さつき) ❁ 基本健康診査(北野下研修センター・赤名改善センター)	14 ❑ 来島小授業公開日・地区懇談会 ❁ 基本健康診査(赤名改善センター) ❁ がんばるーん体操教室(さつき会館) ❁ 活気と智恵と汗を出せ講演会(来島公民館)	15 ❁ 子育てサロン「ぷよぷよ」(保健福祉センター)
16 ❑ 赤来中PTA奉仕作業 ❑ 飯南高PTA野外清掃 ❖ 雲南管内消防操法大会(雲南市木次町)	17 海の日 ❁ スマイルりんご(来島保健センター) ❁ ふれあいラジオ体操	18 ❑ 志々小個人懇談〜19日 ❑ 保育所プール開き(来島・桜ヶ台・さつき) ❁ 軽体操教室(基幹集落センター)	19 ❁ こもれび相談室(さつき会館)	20 ❑ 小中高校1学期終業式 ❑ 赤名保育所プール開き ❁ フッ素塗布(来島保健センター) ❖ 自治区文書配布日	21 ❑ 県中学総体陸上〜23日(松江)	22 ❑ 志々小PTA親子キャンプ〜23日 ❁ 八神ふるさと夏祭り(八神連坦地)
23	24 ❑ 来島小個人懇談〜25日 ❑ 飯南高地区PTA(頓原・志々地区)	25 ❑ 飯南高地区PTA(赤名地区) ❑ 県中学総体卓球〜26日(隠岐の島町) ❁ とんばら探検隊〜26日(頓原公民館)	26 ❑ 飯南高地区PTA(来島地区) ❁ 一歩の会(来島保健センター) ❁ こもれび相談室(谷コミセン) ❁ 軽体操教室(赤名改善センター)	27 ❁ 基本健康診査(たかばしセンター) ❁ カヌー教室(来島公民館)	28 ❁ がんばるーん体操教室(さつき会館)	29 ❁ とんばらふるさと夏祭り(頓原連坦地)
30 ❑ 県中学吹奏楽コンクール(松江市) ❁ やまめのつかみ取り大会(谷公民館)	31 ❑ 中・高合同夏季集中学習〜8/2 ❁ おしゃべり広場(さつき会館)	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5

❑ 教育 ❁ 健康・保健 ❁ 文化・体育 ❖ その他

決められた日時をお守りください

し尿汲取り日

頓原地域 ▲72-1401
赤来地域 ▲76-2441

汲取り地区	汲取り日
頓原	7日 9日 27日 29日
志々	12日 14日
赤名	2日 4日 22日 24日
来島	17日 19日
谷	4日 24日

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資源物

収集地域	収集日
頓原	19日(水)
赤来	26日(水)

収集地区	金属類・粗大物 収集日	ガラス類 収集日
頓原連坦地	24日(月)	10日(月)
八神連坦地	26日(水)	12日(水)
志々・頓原の連坦地以外	25日(火)	11日(火)
赤名連坦地	18日(火)	3日(月)
来島連坦地	20日(木)	5日(水)
赤名・来島の連坦地以外	19日(水)	4日(火)